

サッカースタジアム整備の検討に係るアンケート調査の実施について（案）

1 目的

サッカースタジアムに対する市民（県民）意識の基礎調査を行うとともに、サッカースタジアムの整備を検討する際に、市民（県民）が重要とする視点を把握することを目的として実施する。

2 調査結果の活用方法

調査結果は、最終的な候補地の絞り込み・評価の際の参考資料とする。

3 アンケート調査の留意点

分かりやすく、公平・中立で客観的な質問内容とする。回収率を上げるため、問いは必要最小限とする。候補地の詳細が明らかでない段階であるので、どの候補地がよいかという問いは行わない。

4 アンケート調査の内容

(1) 基本項目

性別、年齢、居住している区

(2) サッカーに対する意識の基礎調査

ア サッカーに関心があるかどうか（関心のある人とない人のクロス集計に用いる）

イ 試合観戦経験の有無

(3) サッカースタジアムに対する意識の基礎調査

サッカースタジアムの整備は市の活性化につながるか。（サッカースタジアムの必要性）

(4) サッカースタジアムの整備を検討する際に重視する点

アクセス性、コスト性、発信性、付加機能、経済やまちづくりへの波及効果、牽引性等
（協議会において、最終的な候補地の絞り込み・評価を議論する際の参考資料とする）

5 アンケート調査の対象

広島市に在住する男女（18歳以上）を区毎に無作為抽出

6 アンケートの規模

- (1) 調査者（発送）数 2, 540
- (2) 要求精度 全体の標本誤差を3%以下（信頼水準95.0%）
- (3) 標本数 上記精度による必要標本数 1, 066
- (4) 回収率（見込み） 42%（広島市のアンケート調査を参考）
- (5) 調査方法 郵送調査法

※ 標本数と標本誤差について

通常のアンケート調査は標本誤差5%として、標本数を決めることが多い。標本誤差5%の場合、例えばサッカーに関心のある人の割合が50%という結果のとき、その数値は母集団の45%~55%の中にある確率が95%（信頼水準）というものである。

本件の場合は、さらに精度の高い標本誤差3%を用いることとする。

7 アンケート調査の時期

○アンケート調査 平成26年8月上旬~中旬（2週間程度確保）

○調査の取りまとめ 平成26年8月下旬

◆サッカースタジアム整備に対するご意見があればお聞かせください。

[Empty space for providing opinions on stadium renovation]

◆最後にあなた自身のことについておたずねします。

性別、年齢、お住まいの区を教えてください。(それぞれ○は1つ)

性別	1 男性	2 女性			
年齢	1 10代	2 20代	3 30代	4 40代	5 50代
	6 60代以上				
お住まいの区	1 中区	2 東区	3 南区	4 西区	5 安佐南区
	6 安佐北区	7 安芸区	8 佐伯区		

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

この調査票を返信用封筒に入れ、平成26年 月 日 ()までにご投函ください。